

事例7 児童の思いや願いを生かした単元計画の工夫と表現活動の充実を図った事例

- 学年 第2学年
- 主な領域 公共物や公共施設の利用 内容(4)
- 事例のポイント

- ①児童の思いや願いを生かした単元の導入を工夫する。
- ②気づきの質を高めるため、様々な表現方法を工夫する。

ICTを活用した主な学習場面

- ・公共施設を見学する場面
- ・伝え合い交流する場面

ICT活用の利点

- ①公共施設を見学する際に、ICT端末の写真機能を使って見つけたものを保存し、振り返りの場面で活用することで、新たな気づきを得ることができる。
- ② 伝え合い交流する際に、写真や絵、動画等で多様な表現を行うことができる。

1 単元名 「みんなでつかう まちのしせつ」(7時間)

2 単元について

(1) 児童の実態について

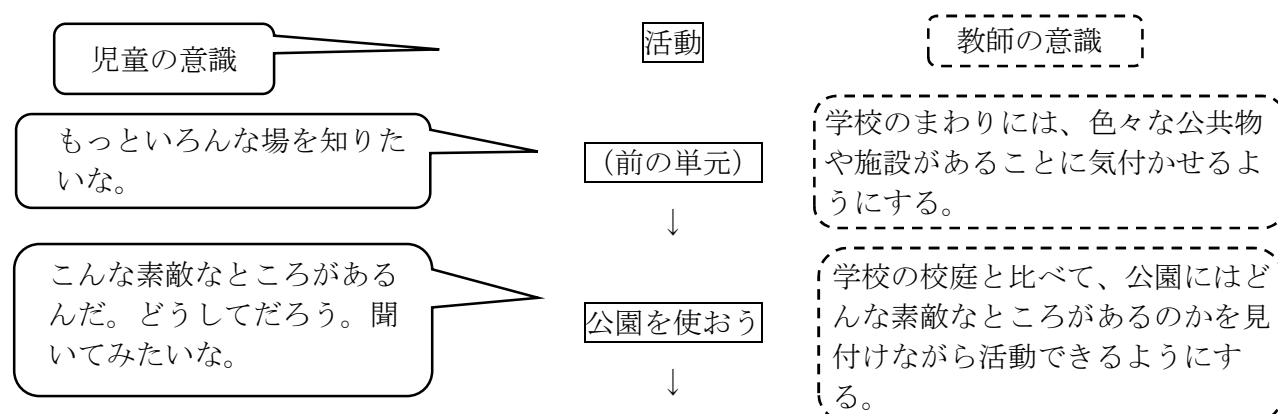
本学級の児童は、1学期に学習した単元「どきどきわくわく まちたんけん」において、町探検に取り組んだ。はじめは、自分の家の周りにあるものを紹介したり、調べたりする児童が多かったが、繰り返し探検を行う中で、家の周り以外の地域にも興味をもち、学校の周りの色々な施設や場所に関心をもつことができるようになった。それぞれの地域を探検することで、自分のお気に入りの場所やものを友達に紹介したり、先生に伝えたりしている姿が見られた。

(2) 単元設定の趣旨と構成上の配慮

本単元は、学習指導要領の内容(4)を受けて、設定したものである。ここでは、児童に身近な公共物や公共施設を利用する機会を設け、それらのよさを感じたり働きを捉えたり、身の回りにはみんなで使うものがあることや支えてくれる人々がいることを知り、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用しようとすることをねらいとしている。活動を通じて、公共物や公共施設は何のために、どのような願いが込められて作られているのかを知ることができ、これからどのように利用していけばよいのか、児童自身が自分の行動を振り返りながら活動することができる考える。

単元を構成するに当たっては、1学期に探検した場所を振り返りながら、町の中のみんなで使う施設に着目し、行ってみたい公共施設を設定する。施設の素敵なおところを見付けに行くために、どのように行けばいいのか、どんなことを質問したらいいのか等、児童の思いや願いを生かして計画を進めるようにする。実際に公共施設やそこで働く人々と関わることで、その施設に込められた思いを知り、これからの自分の行動を振り返ることができるようにしていきたい。

(3) 児童の意識の流れ



千本桜公園にこんなよいところがあったよ。他にも見付けたいな。

公園のことを聞いてみよう



国語でおこなったインタビューの学習も取り入れながら、公園の魅力を更に引き出せるようにする。

みんなで使う千本桜公園のことを話し合おう

前に分からないと思っていたことが分かった。
町の人々のことを考えて作られているんだな。

写真やポスター等、児童自身で表現方法を選択し、友達に伝えられるようにする。

3 単元の目標

千本桜公園の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切にし、正しく安全に利用しようとすることができるようにする。

4 単元の評価規準と小単元の評価規準（7時間扱い）

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価規準		千本桜公園の利用を通して、身の回りにはみんなで使う物があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。	千本桜公園の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができる。	千本桜公園の利用を通して、それらを大切にし、正しく安全に利用しようとしている。
小単元 の評価 規準	1 千本桜公園を 使おう (3)	①千本桜公園は、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付いている。 ②ルールやマナーを守って活動している。	①学校の校庭との共通点や違う魅力を感じながら、千本桜公園を利用している。	①千本桜公園への関心や期待をもちながら、それらを正しく安全に利用しようとしている。
	2 千本桜公園とを 聞いてみよう (3)	③千本桜公園には、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用しやすいような工夫があることや、それを支えている人の存在に気付いている。	②千本桜公園のはたらきやそこで働く人の役割を予想しながら、公園に来る人や働く人と話したり質問したりしている。	②千本桜公園は、多様な人々の暮らしを豊かにしていることを実感し、これからも大切に利用しようとしている。
	3 みんなで使う 千本桜公園とを 話し合おう (1)			

5 指導と評価の計画

小単元名（時数）	主な学習活動	小単元の評価 規準との関連	評価規準から想定した具体的な児童の姿（評価方法）
1 千本桜公園を 使おう(3)	①公共施設を利用することについて話し合い、出かけるための準備をする。(1) ②地域の公共施設に出かけ、利用する。(1) ③学校に戻り、学習活動を振り返る。(1)	知・技① 知・技② 思・判・表① 態①	- 公共施設には、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用していることをつぶやいたり話したりしている。(行動・発言・つぶやき) - ルールやマナーを守って公園で活動している。(行動) - 学校の施設と同じところや違うところを見付けている。(行動・発言・つぶやき) - 公共施設に興味をもって、楽しく安全に利用している。(行動・発言・ワークシート)
事例のポイント① 児童の思いや願いを生かし、児童から挙げた公共施設の中から選ぶことで、児童が主体的に活動に取り組むことができるようにした。			
編 P87 指導計画作成留意事項(2)			
ICT活用の利点① 公園の素敵なところを撮影し保存することで、振り返りに活用することができた。			
記念碑ってなんだろう。			
出入口 			
ベンチがおもしろい形だね。			
千本桜公園には、素敵なおところがたくさんあるね。			
ICT活用の利点② 画面上に児童の撮った写真を配置し、簡易的な地図を作り、共有することで、みんなで見つけた公園の素敵なおところを見やすく分かりやすく表現することができ、話し合い活動を活発に行うことができた。また、話し合いから、公園が利用者のことを考えて造られていることに気付くことができた。			
公園をつくった人に話を聞いてみたいな。			
			

2 千本桜公園のことを聞いてみよう(3)	①地域の公共施設に出かけ、調べたり、施設で働く人やボランティアの人、利用者などにインタビューしたりする。(2) ②学校に戻り、学習活動を振り返る。(1)	知・技③ 思・判・表② 態②	- 公共施設には、多様な人が利用しやすくなるような工夫や、支えている人がいることについて話したり、つぶやいたりしている。 (行動・発言・つぶやき) - 公共施設を利用する人や働く人に、話を聞いたり質問したりしている。 (行動・発言) - 公共施設を大切に利用したいという思いを話したり、カードに書いたりしている。 (行動・発言・ワークシート)
事例のポイント② 質問する際にはメモや動画の活用をおこない、振り返りで活用できるよう、活動の記録を残せるように工夫した。インタビューの仕方やメモの取り方等、国語の学習と関連付けて学習することができた。		編 P87 指導計画作成留意事項(3)	
3 みんなで使う千本桜公園のことを話し合おう(1)	①地域の公共施設について話し合う。(1)	知・技③	調べた千本桜公園のことや他の公共施設の工夫などについて気付いている。 (行動・発言・つぶやき・ワークシート)
事例のポイント② 公園の魅力について、ワークシートやポスター、動画など、自分で表現方法を選んでまとめることで、意欲的に活動に取り組むことができた。また、友達の作品から様々な気付きを得ることができた。		ワークシートにまとめた児童 ポスターにまとめた児童	

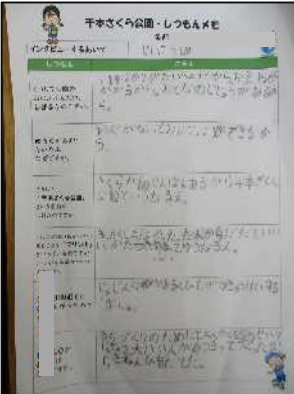
6 本時の学習指導（小単元2 5／7時）

(1) 目 標

インタビューをする活動を通して、公共施設の機能やそこで働く人の役割を予想しながら、公共施設で働く人と話したり質問したりすることができるようにする。

(2) 展 開

児童の活動・意識	評価（●）と支援（○）	時間
1 活動のめあてをつかむ。 公きょうしせつの人に、インタビューをしよう。 2 インタビューの仕方を確認する。 C：「質問してもいいですか」と、聞いてから質問すると思います。 C：「A小学校の〇〇です」と自己紹介してから質問します。 C：「どうして公園の山になっているところだけ芝生なんですか。」と聞きます。 C：動画で記録をしたいので、「動画を撮ってもいいですか。」とお願いします。 ICT活用の利点① メモが苦手な児童は、動画や音声メモを活用することで、まとめや振り返りの活動に生かすことができた。	○質問をする時には、どんな聞き方をすれば相手が気持ちよく引き受けてくれるかも、一緒に確認しながらインタビューに臨めるようにする。 ○メモを取るのか、動画を取るのか、どのようにインタビューをまとめるかも考えておく。 ○メモを取る際は、ワークシートを用意し、事前に質問の多かった項目を載せておき、その下に質問の答えが書けるようにしておく。 ○メモが苦手な児童については、動画での記録が可能かどうか、質問できるようにしておく。 ○本番にリラックスして臨めるようにする。	10
3 公共施設の人に、質問する。 C：質問したいことがあるのですがよろしいですか。 C：どうして公園の山になっているところだけ芝生なんですか。 C：遊具があまりないのはどうしてですか。 C：千本桜公園は、いつごろつくられたんですか。 公園を川の近くにつくったのは、なぜですか？	○施設に事前に連絡をして、インタビューをすることについて許可を得ておくようにする。 ○施設の方に、事前にどのような質問が出てくるのかを連絡し、スムーズに受け答えしてもらえるようにする。 ●公共施設の人に、自らインタビューすることができる。【思・判・表②】（対話・会話・行動観察） 川のそばを散歩やジョギングをする人が休めるように、つくりました。	25

4 学校に戻り、本時を振り返り、次の活動の予告をする。 遊具がなくても、楽しく遊べることが分かったよ！ 休みの日に、今度は家族で遊びに来たいな！ 事例のポイント② 質問に答えてもらったことを、メモや音声、動画等を活用して記録し、本時や次時の振り返りの際に役立てることができた。	○公共施設から帰る道中も活用し、会話をしながら今日のことを誰にどのような形で伝えていきたいか、一緒に考えを整理しておく。 ○学校に戻り、メモや動画を見ながら、振り返りを行う。 ○次時では、みんなと施設のすることについて話し合うために、準備をすることを伝える。   	10 友達や家族のみんなや先生に、公園のことを伝えたいな！
---	---	---

7 本実践を振り返って

「みんなでつかう まちのしせつ」の単元は、教科書では図書館の取り扱いが多く、本校も毎年図書館へ行き、学習をしている。しかし、図書館は地域でも遠方にあることから、必ずしも児童にとって身近な施設とは言えない。今回、児童に調べてみたい公共施設を聞いたところ、町探検で一度行った「千本桜公園」について、もう一度調べていきたいという児童が多かった。そのため、児童の思いや願いを基に「千本桜公園」に学習場所を設定した。

また、「公園をつくった人に聞いてみたい」という児童の発言から、管理会社に連絡を取り、インタビューの機会を設けていただいた。その際、質疑応答以外にも花の苗植えや紙飛行機あそびの活動と一緒にすることも提案いただき、活動に広がりをもてた。地域の方もまた、児童との交流を積極的に望んでくださっていることが分かり、地域との新たなつながりを作ることができ、とても有意義な取組であった。

単元の最後の振り返り活動では、児童それぞれが千本桜公園の魅力を伝えるために、ワークシートでも枠があるものや無地のものを選ぶ児童もいたり、大きな紙に地図のようなポスターを書いたり、さまざまな表現方法が見られた。自由な表現活動に児童も意欲的に取り組む姿勢が見られ、さらに友達の活動にも興味をもちながら活動している様子から、とても効果的であると感じた。主体的な学習を行うことで、表現活動の充実にも繋がったのではないかと考える。

今後も、児童の思いを大切にしたい単元づくりを心掛け、児童が主体的に、また地域の方々ともより一層触れ合っていくことができる生活科の授業を行っていききたい。